2024年度 大阪府訪問看護実践研修事業 教育ステーション事業

あいの発達支援リハビリ訪問看護ステーション

中野 幸恵

目標

- 1、事例発表会を実施し、各ステーションから報告された事例を、共有することで個々の看護の質の向上と高めるとともに地域の看護の質の向上の機会とする。
- 2、訪問看護の役割と現場を学ぶ場を設け、訪問看護就労希望者を増やす
- 3、多職種を対象とした電話相談の周知と活用数を増やす。

事例発表会

大阪府訪問看護実践研修事業 教育ステーション

2024年度 三島ブロック
事例発表会

参加費 無料 ZOOMによるオンライン開催
10/11(金)16:00~17:30

プログラム	テーマ
1.北摂総合病院訪問看護ステーション 「がん末期と告知を受けた利用者の在宅療養の継続を困難にする要因と対策」	「暮らしを支える看護実践」
2.リハビリあき訪問看護ステーション 「ご家族・歯科医と共にご本人の「食べたい」を支えた摂食嚥下リハビリテーション」	講評 学校法人 藍野大学 藍野大学短期大学部 学長 足利学先生
3.みどりヶ丘訪問看護ステーション 「介護の不安をもつ家族への在宅看取り支援」	タイムスケジュール 15:40~16:00 ZOOM入室 *入室後名前の設定を「事業所 氏名」に変更してください。 16:00~オリエンテーション 16:05~開会あいさつ 16:10~発表7分・質疑応答5分 17:00~講評
4.すずね訪問看護リハビリステーション 「うつ病を併発した不登校利用者への精神科作業療法士のかかわり」	17:20~閉会挨拶・アンケート入力 【問い合わせ】 あいの発達支援リハビリ訪問看護ステーション 管理者中野 幸恵 電話：072-627-7896 携帯：080-7973-2661

※事前申込制

申込方法①②いずれかでお申し込みしてください。

①QRコード（申込用）

②URL（申込用）

<https://forms.gle/LUTRsuKBXNaZpL5SA>

申込締め切り10/8(火)16:00まで

開催日：令和6年10月11日

テーマ：「暮らしを支える看護実践」

開催場所：オンライン(ZOOM)

目標人数：51名

アンケート回収数：64名

事例発表会

今回の事例発表会は、勤務時間内に実施したことで出席しやすかったという意見が多かった。また看護師だけでなく、セラピストの発表もあり、多職種連携についてより認識、実感できた。講評担当者は心理職であり、多職種連携に対する心理的な描写や、対人職をする者の心理的な負担など織り交ぜながらの講評に、参加者からも利用者にケアする自分自身を振り返る場ともなつたと意見が多くみられた。

今回の研修を通し、利用者を取り巻く資源は多岐にわたっているため、看護師だけでなく、多職種と一緒に教育を受ける場、発表する場が必要であると考えます。

訪問看護体験研修

2024年度大阪府訪問看護実践研修事業 教育ステーション「体験研修事業」

訪問看護「教育ステーション」による 体験研修のご案内!!

在宅で小児患者や家族はどのような生活をしているのだろうか?

2024年12月末
まで随時受付

小児の対象者が多い 訪問看護を行っています

▶受け入れ期間：2024年12月末まで（日程はご相談ください）

▶対象：訪問看護に興味のある専門職（看護師・リハビリセラピスト・ケアマネジャー・ソーシャルワーカー）や、学生（高校生や看護学生）、訪問看護師

▶体験費用：**無料**

体験内容

▶1日体験コース（9時00分～17時00分）

訪問看護師に同行し、訪問看護師の仕事内容や療養者とその家族が地域でどのように生活しているのかを知ることができる体験コースです。

※新型コロナウイルス感染症の状況次第では延期や中止となる場合があります。
※体験の希望内容によっては、協力ステーションが体験研修先となる場合があります。

※申し込みは、①裏面用紙に記載しFAX ②QRコード
③電話のいずれかで申込みください。

あいの発達支援リハビリ訪問看護ステーション（担当：中野幸恵）
〒567-0011 茨木市高田町1-22 AINOPIAビル2階
TEL 072-627-7896 FAX072-626-2414

- ・体験研修参加者 5名
訪問看護での就労を予定されている看護師
育児中の作業療法士
産婦人科勤務の看護師
保育士など

- ・体験してみたいこと
ご自宅に伺い対象の子どもや家族とコミュニケーションをとりながら、実際どのように看護を提供しているのか。仕事内容も含めて体験したい。

8月以降広報開始し、数名の問い合わせがあった。子育てのため無職の参加者は、子育てしながら仕事もしたい、復職するにあたり自分の子育ての経験やこれまでの臨床での経験をいかしたいと意見があった。近隣の産婦人科に勤務している看護師は、障害を持つきょうだいと出産後の子育て支援など学びが多く、レスパイトできる場など連携していきたいと意見があった。今回、子育て支援をされている保育士の参加があり、実際に医療とどのようにつながっているのか知る機会になった。子育て支援をする中で看護師という職業に興味を持ち始めたと話していた。

電話相談事業

2024年度大阪府訪問看護実践研修事業 教育ステーション「電話相談事業」

訪問看護「教育ステーション」による 電話・FAX相談を開設しました！

＜ケアマネジャー・その他専門職の皆様へ＞

下記の教育ステーションでは、訪問看護師が、ケアマネジャーさんや
その他専門職の皆様の医療・看護に関するご相談に対応しています。
どうぞお気軽にご利用ください！

5月～12月末
実施中。お気軽
にご利用下さい。

たとえば、こんな相談をお受けします

- 訪問看護等の医療系サービスの導入方法
- 訪問看護や訪問看護に関連する制度について
- 在宅療養に向けて必要となる医療的ケアや環境調整
- 他職種（医師等）とのスムーズな連携方法
- 利用者の医療ニーズのアセスメント
- 家族・介護者への介護指導や支援の必要性の判断 ……など

相談
無料

あいの発達支援リハビリ 訪問看護ステーション

(ブロック教育ステーション)

相談日 月～金 9:15～17:00

電話：072-627-7896

「電話相談です」とお伝えください

FAX：072-626-2414

FAX相談用紙をご使用ください

※ご相談内容は、事業報告書等に掲載する場合がございますが、ケアマネジャーの皆様や
ご利用者様の個人情報が特定できる形で公表することは一切ございません。

あいの発達支援リハビリ訪問看護ステーション（担当：森 将司）
〒567-0011 大阪府茨木市高田町1番2-2号 AINOPIAビル2階
TEL 072-627-7896 FAX 072-626-2414

・相談件数

訪問看護ステーションより 2件

・相談内容

実務的な内容 2件

・効果と課題

認識している内容が正しいのか確証がもてなかったなどから相談に至った内容であった。

知識の向上には関連書籍や情報など常に最新のものを収集することが必要であり、このような情報が掲載されている書籍が発刊されていることや、公的機関が公表している最新情報の周知も必要であると感じた。

発達支援、子どもへの支援への相談であった。

年々増えている不登校についてや、登校支援についての質問があり、地域の問題としてステーションとしても発信していく必要があると実感した。

目標の評価と次年度の課題について

三島ブロックでは今年度から3つの訪問看護ステーションが教育ステーションを担っている。各教育ステーション内で役割や研修内容を分担して計画・実施ができた。またお互いに連携し、研修会の準備から実施まで協力しあい実施したことで、教育ステーションとして地域への貢献的活動ができた。

当ステーションは昨年度から教育ステーション事業を担ったが、三島ブロック内で他の教育ステーションに助けをもらうことが多かった。次年度以降は、三島ブロックの一員として、教育ステーション事業に協力できるように積極的に研修会へ参加したいと思います。